

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月12日
【四半期会計期間】	第72期第2四半期（自平成25年7月1日 至平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社コーセー
【英訳名】	KOSE Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小林 一俊
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋三丁目6番2号
【電話番号】	03（3273）1511（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 澁澤 宏一
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋三丁目6番2号
【電話番号】	03（3273）1511（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 澁澤 宏一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第71期 第2四半期 連結累計期間	第72期 第2四半期 連結累計期間	第71期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	百万円	82,162	89,044	170,685
経常利益	百万円	3,169	8,280	14,420
四半期(当期)純利益	百万円	1,128	4,417	6,720
四半期包括利益又は包括利益	百万円	1,391	6,013	8,656
純資産額	百万円	113,219	124,092	119,310
総資産額	百万円	168,254	177,391	173,014
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	円	19.58	77.44	117.22
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	円	-	-	-
自己資本比率	%	63.0	65.6	64.8
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	1,748	5,376	8,706
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	6,586	4,865	7,899
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	3,077	1,454	4,459
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	百万円	25,977	41,957	32,121

回次		第71期 第2四半期 連結会計期間	第72期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	円	15.64	51.55

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社グループに関する財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析・検討内容は下記のとおりであります。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）における日本経済は、消費マインドの改善等を背景に個人消費が底堅く推移するなど、緩やかながらも景気回復の動きが見られました。化粧品業界におきましては、本年8月までの平成25年度の経済産業省化粧品出荷統計（暦年）によりますと、販売個数は前年同期と比べ減少したものの、販売金額は増加いたしました。

このような市場環境の中、当社グループは、独自のブランドマーケティングを進化させ、多様化する市場や生活者ニーズに柔軟かつ迅速に対応するとともに、経営資源の最適配分を推進し経営効率の向上と収益力の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、国内市場の成長率を大きく上回るなど、全社一丸となって推進している「攻めの改革」が功を奏し、売上高は上場以来過去最高となる前年同期比8.4%増の89,044百万円（為替の影響を除くと6.1%増）となりました。なお、連結売上高に占める海外売上割合は12.5%となります。

利益につきましては、積極的な広告宣伝・販売促進活動を展開したことによる増収効果、及び原価低減の効果等により、営業利益はほぼ倍増の6,733百万円（前年同期比98.8%増）となりました。また、円安による為替差益の発生や有価証券償還益などもあり、経常利益は8,280百万円（同161.2%増）、四半期純利益は4,417百万円（同291.6%増）となりました。

化粧品事業

化粧品事業につきましては、国内では、化粧品専門店や百貨店で扱う高級品の販売が堅調だったほか、新製品やプロモーション効果により大幅伸長した「雪肌精」に加え、「アスタブラン」や「肌極」などのスキンケアアブランドも順調に推移いたしました。海外においては、アジア市場での販売強化とともに収益性の改善に取り組みました。

これらの結果、当事業の売上高は63,731百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は6,170百万円（同51.4%増）となりました。

コスメタリー事業

コスメタリー事業につきましては、「サンカット®」や「ジュレーム」など、一般品流通を販路とするコーセーコスメポート株式会社の各ブランドが引き続き好調だったほか、「ヴィセ」のリニューアル効果などにより、売上高は24,512百万円（前年同期比17.8%増）、営業利益は2,107百万円（同158.5%増）となりました。

その他

その他の事業につきましては、アメニティ製品の販売やOEM生産の受注が減少した結果、売上高は800百万円（前年同期比13.4%減）、営業利益は291百万円（同25.8%減）となりました。

(2) 資金の状況及び資金の見通し

資金の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動比率は334.8%、当座比率は254.4%であり、前連結会計年度末に比べそれぞれ8.0ポイントの増加、2.1ポイントの増加となりました。主な理由は下記のとおりであります。

資産は、前連結会計年度末に比べ4,376百万円の増加となりました。現金及び預金の増加3,993百万円、受取手形及び売掛金の減少1,419百万円、有価証券の減少224百万円、商品及び製品の増加1,208百万円、原材料及び貯蔵品の増加985百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ405百万円の減少となりました。支払手形及び買掛金の増加2,771百万円、未払金の減少1,240百万円、未払法人税等の減少653百万円、未払費用の減少200百万円等によるものであります。

なお、有利子負債残高は4,879百万円、デット・エクイティ・レシオは0.04倍となりました。

資金の見通し

当社グループの資金調達の状況につきましては、事業継続に必要と考える資金は確保していると認識しております。

今後の資金使途につきましては、内部留保により財務体質の強化を図る一方、設備投資やM & Aに取り組むことで将来のキャッシュ・フローの創出につなげ、資本効率の向上を図ってまいります。また、一時的な余剰資金の運用につきましても、安全性を第一に考慮し運用商品の選定を行っております。

(3) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物は、前第2四半期連結累計期間より15,979百万円増加し41,957百万円（前年同期比61.5%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,376百万円の収入（同207.5%増）となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益8,230百万円、非資金費用である減価償却費2,150百万円、退職給付引当金の減少985百万円、たな卸資産の増加1,634百万円、有価証券償還差益711百万円、その他の資産の増加986百万円、為替差益295百万円、売上債権の減少1,811百万円、仕入債務の増加1,261百万円及び法人税等の支払い3,500百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,865百万円の収入（前年同期は6,586百万円の支出）となりました。主な要因は定期預金の減少による純収入2,345百万円、有価証券の売買及び償還による純収入4,454百万円、有形固定資産の取得による支出1,587百万円、無形固定資産の取得による支出2,040百万円、投資有価証券の売買及び償還による純収入1,316百万円、投資その他の資産の減少による収入343百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,454百万円の支出（同52.8%減）となりました。主な要因は配当金の支払い1,197百万円等であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間に支出した研究開発費の総額は2,173百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	60,592,541	60,592,541	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株 であります。
計	60,592,541	60,592,541	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		60,592		4,848		6,390

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
小林 一俊	東京都文京区	7,294	12.04
小林 孝雄	東京都港区	7,240	11.95
小林 正典	Queensway, Hong Kong	7,115	11.74
小林 保清	東京都品川区	2,893	4.77
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパ ニー 505223 (常任代理人 株式会社みず ほ銀行決済営業部)	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A. (東京都中央区月島4-16-13)	2,057	3.40
小林 和夫	東京都中野区	1,926	3.18
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A. (東京都中央区日本橋3-11-1)	1,500	2.48
小林 美智子	東京都港区	1,279	2.11
公益財団法人コスメトロジー 研究振興財団	東京都中央区八丁堀3-11-8	1,279	2.11
日本マスタートラスト信託銀 行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	1,118	1.85
計	-	33,705	55.63

(注) 1. 上記のほか、当社は自己株式3,546千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合:5.85%)を所有しております。

2. MFSインベストメント・マネジメント株式会社及びその共同保有者であるマサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニーから、平成25年7月3日付で提出された大量保有報告書の写しにより、平成25年6月28日現在で次のとおり当社の株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として平成25年9月30日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
MFSインベストメント・マネジメント株式会社	11	0.02
マサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニー	3,048	5.03

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,546,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 56,889,400	568,894	
単元未満株式	普通株式 157,141		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	60,592,541		
総株主の議決権		568,894	

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,800株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数38個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社コーセー	東京都中央区日本橋 三丁目6番2号	3,546,000		3,546,000	5.85
計		3,546,000		3,546,000	5.85

2【役員】の状況

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の変動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）及び第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,903	31,897
受取手形及び売掛金	² 24,828	23,409
有価証券	24,093	23,868
金銭の信託	12,000	12,000
商品及び製品	11,101	12,309
仕掛品	1,292	1,121
原材料及び貯蔵品	8,806	9,792
繰延税金資産	4,093	3,998
その他	1,197	1,858
貸倒引当金	250	272
流動資産合計	115,067	119,982
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,672	30,927
減価償却累計額	18,851	19,335
建物及び構築物(純額)	11,820	11,592
機械装置及び運搬具	12,610	12,752
減価償却累計額	10,838	10,930
機械装置及び運搬具(純額)	1,772	1,822
工具、器具及び備品	30,687	31,347
減価償却累計額	26,188	26,695
工具、器具及び備品(純額)	4,498	4,651
土地	16,935	16,993
リース資産	1,049	1,113
減価償却累計額	437	520
リース資産(純額)	612	593
建設仮勘定	58	125
有形固定資産合計	35,698	35,779
無形固定資産		
ソフトウェア	1,196	1,161
その他	1,879	3,584
無形固定資産合計	3,075	4,746
投資その他の資産		
投資有価証券	7,560	5,522
繰延税金資産	8,413	8,032
その他	3,388	3,504
貸倒引当金	188	176
投資その他の資産合計	19,173	16,883
固定資産合計	57,947	57,408
資産合計	173,014	177,391

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 11,274	14,045
短期借入金	4,356	4,250
リース債務	180	185
未払金	5,940	4,700
未払費用	7,297	7,097
未払法人税等	3,181	2,528
未払消費税等	632	614
返品調整引当金	1,717	1,561
その他	625	855
流動負債合計	35,206	35,838
固定負債		
リース債務	464	438
退職給付引当金	14,985	14,000
役員退職慰労引当金	2,698	2,693
その他	349	328
固定負債合計	18,497	17,460
負債合計	53,704	53,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	6,390	6,390
利益剰余金	109,333	112,552
自己株式	9,076	9,077
株主資本合計	111,495	114,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	799	705
為替換算調整勘定	206	1,015
その他の包括利益累計額合計	592	1,720
少数株主持分	7,221	7,657
純資産合計	119,310	124,092
負債純資産合計	173,014	177,391

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	82,162	89,044
売上原価	20,584	22,063
売上総利益	61,578	66,980
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	5,331	5,630
販売促進費	16,820	18,019
運賃及び荷造費	3,169	3,315
給料及び手当	18,774	18,827
退職給付費用	707	630
法定福利費	2,596	2,726
減価償却費	1,109	1,192
その他	9,681	9,903
販売費及び一般管理費合計	58,191	60,246
営業利益	3,387	6,733
営業外収益		
受取利息	72	123
受取配当金	100	138
特許実施許諾料	28	20
為替差益	-	507
有価証券償還益	18	711
雑収入	92	78
営業外収益合計	313	1,579
営業外費用		
支払利息	23	20
為替差損	483	-
雑損失	24	12
営業外費用合計	531	33
経常利益	3,169	8,280

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	134	4
投資有価証券売却益	4	-
特別利益合計	138	4
特別損失		
固定資産処分損	37	53
投資有価証券評価損	116	1
投資有価証券売却損	-	0
その他	11	-
特別損失合計	165	54
税金等調整前四半期純利益	3,142	8,230
法人税、住民税及び事業税	1,319	2,844
法人税等調整額	461	550
法人税等合計	1,781	3,394
少数株主損益調整前四半期純利益	1,361	4,835
少数株主利益	233	417
四半期純利益	1,128	4,417

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,361	4,835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	181	92
為替換算調整勘定	211	1,270
その他の包括利益合計	30	1,177
四半期包括利益	1,391	6,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,143	5,545
少数株主に係る四半期包括利益	247	467

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,142	8,230
減価償却費	2,129	2,150
貸倒引当金の増減額(は減少)	17	5
退職給付引当金の増減額(は減少)	774	985
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	10	4
その他の引当金の増減額(は減少)	26	156
固定資産処分損益(は益)	96	48
受取利息及び受取配当金	173	261
支払利息	23	20
為替差損益(は益)	487	295
有価証券償還損益(は益)	18	711
投資有価証券売却損益(は益)	4	0
投資有価証券評価損益(は益)	116	1
売上債権の増減額(は増加)	1,124	1,811
たな卸資産の増減額(は増加)	4,106	1,634
仕入債務の増減額(は減少)	3,009	1,261
その他の資産の増減額(は増加)	438	986
その他の負債の増減額(は減少)	221	100
小計	4,143	8,594
利息及び配当金の受取額	195	298
利息の支払額	20	16
法人税等の支払額	2,570	3,500
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,748	5,376
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	9,315	4,433
定期預金の払戻による収入	7,586	6,779
有価証券の取得による支出	6,446	3,991
有価証券の売却及び償還による収入	9,408	8,446
有形固定資産の取得による支出	3,098	1,587
有形固定資産の売却による収入	270	33
無形固定資産の取得による支出	265	2,040
投資有価証券の取得による支出	1,991	1,187
投資有価証券の売却及び償還による収入	817	2,503
投資その他の資産の増減額(は増加)	3,549	343
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,586	4,865

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	48	125
自己株式の純増減額（は増加）	1,846	0
配当金の支払額	1,160	1,197
少数株主への配当金の支払額	32	32
その他	86	97
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,077	1,454
現金及び現金同等物に係る換算差額	196	1,049
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	8,112	9,836
現金及び現金同等物の期首残高	34,090	32,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,977	41,957

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

販売先のリース会社からの債務に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
販売先店舗改装資金等	16百万円	13百万円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	1百万円	- 百万円
支払手形	3,268	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	29,971百万円	31,897百万円
有価証券勘定	16,669	23,868
金銭の信託勘定	10,500	12,000
計	57,141	67,766
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	12,656	8,437
株式及び償還期間が3ヶ月を超える債券等	11,006	7,871
償還期間が3ヶ月を超える金銭信託	7,500	9,500
計	31,163	25,808
現金及び現金同等物	25,977	41,957

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	1,160	20	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	1,140	20	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

3. 株主資本の金額の著しい変動

平成24年7月5日から平成24年8月31日までに、自己株式を信託方式による市場買付により取得いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間において自己株式が1,846百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が9,076百万円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	1,197	21	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月31日 取締役会	普通株式	1,197	21	平成25年9月30日	平成25年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタ リー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	60,438	20,800	81,238	924	82,162	-	82,162
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	0	0	620	620	620	-
計	60,438	20,800	81,238	1,545	82,783	620	82,162
セグメント利益	4,076	815	4,891	392	5,283	1,896	3,387

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	67
各報告セグメントに配分していない全社費用	1,829

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	その他	計
72,688	9,272	201	82,162

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタ リー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	63,731	24,512	88,243	800	89,044	-	89,044
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	270	270	270	-
計	63,731	24,512	88,243	1,071	89,315	270	89,044
セグメント利益	6,170	2,107	8,277	291	8,568	1,835	6,733

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位: 百万円)

セグメント間取引消去	18
各報告セグメントに配分していない全社費用	1,816

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位: 百万円)

日本	アジア	その他	計
77,899	10,908	236	89,044

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	19円58銭	77円44銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,128	4,417
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,128	4,417
普通株式の期中平均株式数(千株)	57,629	57,046

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

1. 中間配当による配当金の総額 1,197百万円
2. 1株当たりの金額 21円00銭
3. 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成25年12月10日

(注) 平成25年9月30日最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、支払を行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

株式会社コーセー
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 星野 正司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森田 祥且 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社コーセーの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社コーセー及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲には、XBRLデータ自体は含まれておりません。